

カリキュラムマップ（文化社会学科）

文化社会学科のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）
<p>文化社会学科では、身近な現代文化に関する興味や関心を起点として、さまざまな社会現象や社会問題が起こる背景を、フィールドワークや社会調査など社会学の技法を用いて分析する能力を身につけるために、次のようなカリキュラムを編成している。</p> <p>1. 実社会で活躍する女性をゲストとして招き、現場から見た現代文化の特徴、仕事をとらえて社会と関わるうえで必要な能力や態度、女性のキャリアとライフデザインなどに関する講演を聞き、講演の要点と自分の考えをレポートとしてまとめる科目を1年次に設置。 「総合科目・文化社会学Ⅰ・Ⅱ」</p> <p>2. 情報収集、調査、レポート作成、発表、ディスカッションなど、大学での学びに必要な基本的スキルを身につけ、幅広い視野で物事を多面的にとらえる社会学的思考力の基礎を学ぶ科目（多くは少人数制）を1年次から2年次に設置。 「文化社会学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、「文化社会学情報演習」、「はじめての社会調査」、「社会調査演習」、「フィールドワーク演習」、「インターネット社会論」</p> <p>3. さまざまな現代文化を通して人間の行動や社会のしくみを深く見つめる科目を1年次から3年次に設置。（32科目）</p> <p>4. 3年次以降に各自が関心のあるテーマを社会学的観点から掘り下げていくために、文化と社会の相互関係について総括する科目を2年次に設置。 「文化社会学概論」</p> <p>5. 自分が関心のあるテーマを決め、各自が掘り下げて調査・分析・発表する少人数制の科目（ゼミ）を3年次に設置。 「文化社会学演習Ⅰ・Ⅱ」</p> <p>6. 最も興味のある分野を選んで研究テーマを決め、本や資料を読む、インタビューで生の声を集める、雑誌や新聞の記事、インターネット上の情報を分析するなど、実際に調査を行い、自分なりの答えを導き出す少人数制の科目（ゼミ）を4年次に設置。 「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」</p>

文化社会学科のディプロマポリシー（学位授与の方針）
<p>1. 知識・理解</p> <p>(1) 文化と社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人との結びつきを明らかにできる。</p> <p>(2) 身近な現代文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できる。</p> <p>2. 汎用的技能</p> <p>(1) 社会現象や社会問題に対する自らの関心を掘り下げて問題を設定し、社会学の概念を活用して、論理的に分析することができる。</p> <p>(2) 自分の考え方を相手に伝わるように表現し、相手の考え方も受け止めることができる。</p> <p>(3) フィールドワークや社会調査など社会学の技法を用いて社会現象や社会問題に関する情報を収集することができる。</p> <p>(4) 統計的なデータ分析・プレゼンテーション・情報発信などを適切に行うことができる。</p> <p>3. 態度・志向性</p> <p>(1) 常に変化する現代社会において、さまざまな社会現象や社会問題に関心を向ける態度を身につけている。</p> <p>(2) 統計的数値・図表・解釈方法などをのみにせず、根拠を重視して論理的に吟味する批判的思考の態度を身につけている。</p> <p>(3) 自分を見失わず、他者の考えを理解しつつ、多面的な解釈を行う態度を身につけている。</p> <p>4. 統合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>(1) 社会学の知識と社会生活の現場に関する多様な経験を総合し、常識にとらわれず、社会現象や社会問題に対する自分なりの考え方を論理的に構築することができる。</p> <p>(2) 自分なりの考えを責任をもって他者に表現し、積極的に発信することができる。</p>

文化社会学科カリキュラム							カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを達成するために ◎ 特に重要な項目 ○ 重要な項目 △ 履修することが望ましい項目					
授業科目名	授業科目のねらい	授業科目の到達目標	単位数 (○印は必修)	配当年次	開講区分	レベル (低1～4高)	アクティブラーニング※の実施について (具体的にお書きください)	知識・理解 (基礎力)	汎用的技能 (思考力・実践力)	態度・志向性 (思考力・実践力)	統合的な学習経験と創造的思考力(実践力)	
文化社会学基礎演習Ⅰ	大学での学びに必要な知的生産の技術である、調べる、口頭で報告する、討論する、論文としてまとめる、という能力をつけるための出発点とする。	知的生産の技法(問題を見つける、調べる、口頭発表する、書く)を一通り体験する。	2	○	1	前期	1	グループ・ディスカッション、グループ・ワーク	◎	◎	◎	○
文化社会学基礎演習Ⅱ	情報収集、レポート作成、発表、ディスカッションなど基本スキルを磨く。	統合的な学習経験と創造的思考力を身につけるための基礎力の獲得を目標とする。	2	○	1	後期	1	グループ・ディスカッション、グループ・ワーク	◎	◎	◎	○
社会調査演習	情報収集の技法の一つとして、社会調査(観察、インタビュー、質問紙調査など)を実践的に学ぶ。	社会調査の基本技能を身につける。	2	○	2	前期	2	グループ・ワーク、調査学習		◎	◎	
文化社会学情報演習	コンピュータを使った情報収集、それらを利用するための基本的知識と技術、また、各種の統計やデータの収集方法と、プレゼンテーションの技術の基礎を実践的に学ぶ。	コンピュータを用いた情報収集、調査、レポート・プレゼンテーション作成ができるようになる。	2	○	2	前期	2	プレゼンテーション	○	◎	◎	○
文化社会学概論	2年次前期までに学んだ多様な科目をふまえ、文化と社会の総合関係について総括する。	社会学的な観点を理解し、文化のさまざまな局面について自分の力で分析する力を身につける。	2	○	2	後期	2		◎	○	◎	○
文化社会学演習Ⅰ	自分が関心のあるテーマを決め、各自が掘り下げて調査・分析・発表する。	得た知識に基づき、社会に関心を向け、それを掘り下げて問題設定し、論理的に分析できるようになる。	4	○	3	前期	3	グループ・ワーク、調査学習	○	◎	◎	◎
文化社会学演習Ⅱ	自分が関心のあるテーマを決め、各自が掘り下げて調査・分析・発表する。	得た知識に基づき、社会に関心を向け、それを掘り下げて問題設定し、論理的に分析できるようになる。	4	○	3	後期	3	グループ・ワーク、調査学習	○	◎	◎	◎
卒業研究Ⅰ	最も興味のある分野を選んで個別のテーマを設定し、文献・資料の収集や調査を通してそのテーマを掘り下げ、卒業論文としてまとめる。	卒業論文を完成するために必要な文献を読み、データを分析収集する能力とそれを文章にまとめて人に伝える力を養う。	4	○	4	前期	4	調査学習、プレゼンテーション	◎	◎	◎	◎
卒業研究Ⅱ	最も興味のある分野を選んで個別のテーマを設定し、文献・資料の収集や調査を通してそのテーマを掘り下げ、卒業論文としてまとめる。	卒業論文を完成するために必要な文献を読み、データを分析収集する能力とそれを文章にまとめて人に伝える力を養う。	4	○	4	後期	4	調査学習、プレゼンテーション	◎	◎	◎	◎
総合科目・文化社会学Ⅰ	現代文化に関わる多様な分野で活動されているゲストを迎えて、現場から見た現代文化の特徴、社会と関わるうえで必要な態度、女性のキャリアとライフデザインなどの話に触れる。	人の話を聞いて、メモを取り、正確に理解できるようになる。メモをもとにして文章化し、レポートを作成できるようになる。具体的な文化現象をとらえて、社会の仕組みを考えることができるようになる。	2		1～	前期	1		○	◎	○	○
総合科目・文化社会学Ⅱ	現代文化に関わる多様な分野で活動されているゲストを迎えて、現場から見た現代文化の特徴、社会と関わるうえで必要な態度、女性のキャリアとライフデザインなどの話に触れる。	人の話を聞いて、メモを取り、正確に理解できるようになる。メモをもとにして文章化し、レポートを作成できるようになる。具体的な文化現象をとらえて、社会の仕組みを考えることができるようになる。	2		1～	後期	1		○	◎	○	○
現代社会論	さまざまな社会現象や社会問題が起こる背景を、身近で具体的な事例を通してみつける。	社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人の結びつきについて理解する力を獲得する。	2		1～	前期	1		◎	○	○	
家族社会学	家族を通して人間や社会の仕組みを深く見つめる。	家族についての知識を獲得し、現代の家族に関心を向け、常識にとらわれず、多面的な解釈を行う態度を身につける。	2		1～	後期	1		◎	○	○	
はじめての社会調査	情報収集の技法としての社会調査の基礎を学ぶ。	社会調査の基本的な知識を身につける。	2		1～	後期	1		◎	○		△
フィールドワーク演習	教室の外でフィールドワークをすることを通して、幅広い視野で物事をとらえる社会学的思考力を身につける。	自分の考え方を相手に伝わるように表現し、相手の考え方や立場を受け止めることができるようになる。	2		2～	後期	2	調査学習、プレゼンテーション		◎	○	○

授業科目名	授業科目のねらい	授業科目の到達目標	単位数 (○印は 必修)	配 当 年 次	開 講 区 分	レ ベ ル (低1～4高)	アクティブラーニング※の 実施について (具体的にお書きください)	知識・理解 (基礎力)	汎用的技能 (思考力・実践力)	態度・志向性 (思考力・実践力)	統合的な学習経験と創 造的思考力(実践力)
インターネット社会論	インターネットをめぐる現代文化を通して人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	インターネットが自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	後期	2	グループ・ワーク	◎	◎	○	
ジェンダー論	ジェンダーをめぐる文化を通して人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	ジェンダーが自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	前期	2		◎	○	○	
ファッション・ビューティー論	ファッション文化、化粧文化を通して人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	ファッション文化や化粧文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	前期	2		◎	○	○	
ポピュラーカルチャー論	ポピュラーカルチャーを通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	ポピュラー文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	前期	2		◎	○	○	
音楽社会学	音楽をめぐる現代文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	音楽文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	前期	2		◎	○	○	
都市社会学	現代の都市をめぐる問題や文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	都市とその文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	後期	2		◎	○	○	
現代宗教論	現代の宗教文化を通して人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	宗教文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	後期	2		◎	○	○	
ボランティアネットワーク論	現代日本における「ボランティア」について考えることを通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	ボランティアが社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。また、それを振り下げて問題を設定し、社会学の概念を活用して、論理的に分析できるようになる。	2	2～	後期	2		◎	○	○	△
観光社会学	観光をめぐる現代文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	観光が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	-	2		◎	○	○	
ケアの社会学	ケアをめぐる問題や文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。		2	2～	-	2		◎	○	○	
社会学の歴史	社会学の歴史に関する基本的な知識を身に着けることを通じて、人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	文化と社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人との結びつきを明らかにできるようになる。また、社会現象や社会問題に対する自らの関心を社会学の概念を活用して、論理的に分析することができるようになる。	2	2～	-	2		◎	△	○	
フィクションの社会学	文学や映画、マンガやアニメなどのフィクション作品の分析を通して人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	身近なフィクション作品が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	2～	-	2		◎	○	○	
文化遺産の社会学	文化遺産とは何か、文化遺産をめぐる諸問題について考えることを通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	文化遺産が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。また、文化遺産に対する自らの関心を振り下げて分析することができるようになる。	2	2～	-	2		◎	○	○	
文化メディア論	メディアをめぐる現代文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	メディアが自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	3～	前期	3		◎	○	○	
エスノグラフィを読む	エスノグラフィ(民族誌)の読解を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	エスノグラフィ(民族誌)の読解を通じて、さまざまな社会や文化を理解し、社会現象や社会問題が起こる背景を分析することができるようになる。	2	3～	前期	3		◎	△	○	
食文化論	食に関わるさまざまな文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	食および食文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	3～	前期	3		◎	○	○	
雑誌文化論	雑誌などの出版・広告物をめぐる現代文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	雑誌などの出版・広告物が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	3～	後期	3		◎	○	○	
コミュニケーション論	現代社会におけるコミュニケーションの分析を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	現代社会におけるコミュニケーションのあり方が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	3～	前期	3		◎	○	○	
理論社会学	社会学の基礎的用語および主要な学説・理論を学び、社会的思考および視点を身に着けることを通じて、人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	社会学の主要な学説・理論を学び、その特性を理解する。現代社会の諸問題を既存の社会学理論と結びつけて考察することができる。	2	3～	後期	3		◎	△	○	
消費文化論	消費をめぐる現代文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	消費文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	3～	-	3		◎	○	○	
スポーツ社会学	スポーツをめぐる現代文化を通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	スポーツが自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	3～	-	3		◎	○	○	
文化社会論A	現代におけるさまざまな文化と社会の関係を考えることを通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人の結びつきについて理解する力を獲得する。	2	3～	前期	3		○	○	◎	○
文化社会論B	現代におけるさまざまな文化と社会の関係を考えることを通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人の結びつきについて理解する力を獲得する。	2	3～	後期	3		○	○	◎	
文化社会論C	現代におけるさまざまな文化と社会の関係を考えることを通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人の結びつきについて理解する力を獲得する。	2	3～	前期	3		○	○	◎	○
文化社会論D	現代におけるさまざまな文化と社会の関係を考えることを通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人の結びつきについて理解する力を獲得する。	2	3～	後期	3		○	○	◎	
社会問題の社会学	社会問題と関わる現代社会について考えることを通じて人間の行動や社会のしくみを深くみつめる。	社会問題が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できるようになる。	2	3～	前期	3		○	◎	○	